

<川棚町食育推進計画>

～健康増進計画（第2次）より抜粋～

5. 住民の生活習慣の状況

(1) 食生活

1) 朝食を食べる頻度【幼児、小・中学生】

朝食を食べないと答えた割合は、小学生0.5%、中学生2.1%となっています。年齢が上がるにつれて増加しています。

<朝食を食べないと答えた者の割合>

(%)

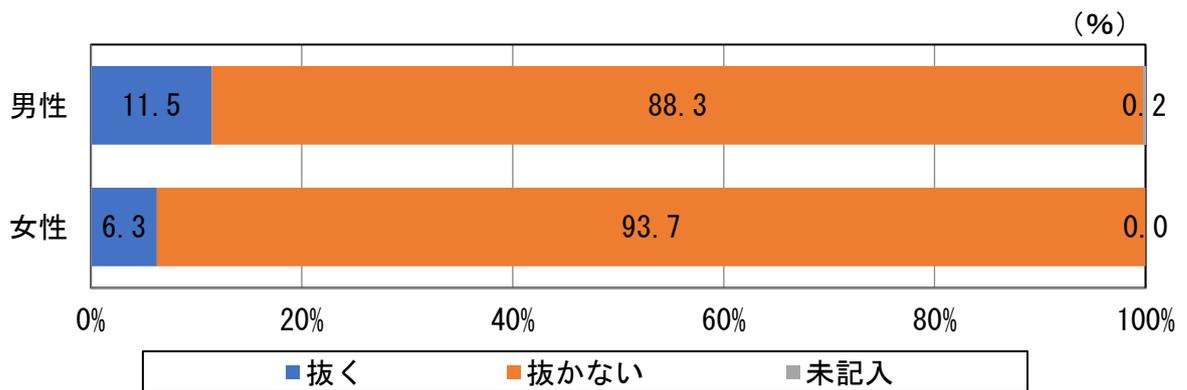
	H24年度
幼児(5歳児)	0.0
小学生	0.5
中学生	2.1

資料：学校保健委員会

2) 朝食を食べる頻度【壮年期～高齢期】

町国保特定健診受診者をみると、男性の方が女性よりも朝食を抜く者の割合が高い状況です。

<週3回以上朝食を抜く者の割合（40～74歳）>



資料：平成24年度町国保特定健診結果

(2) 適正体重

1) 子どもの肥満・瘦身の状況【小・中学生】

肥満傾向にある子どもの割合は学年によってバラつきがあります。年齢的にも成長著しい時期であり、この時期の肥満は生活習慣から来る影響が大きいと考えられます。

<子どもの肥満・瘦身の状況（小・中学生）>

学 年	H24年度 肥満傾向にある男女計			内訳	
	測定者数 (人)	肥満傾向児数 (人)	割合 (%)	男児割合 (%)	女児割合 (%)
小学1年生	138	2	1.4	1.2	1.8
小学2年生	154	3	1.9	0.0	4.1
小学3年生	163	9	5.5	5.3	5.7
小学4年生	143	3	2.1	1.6	2.5
小学5年生	139	9	6.5	8.6	4.3
小学6年生	123	7	5.7	7.9	3.3
中学1年生	161	0	0.0	0.0	0.0
中学2年生	146	0	0.0	0.0	0.0
中学3年生	166	2	1.2	2.4	2.4

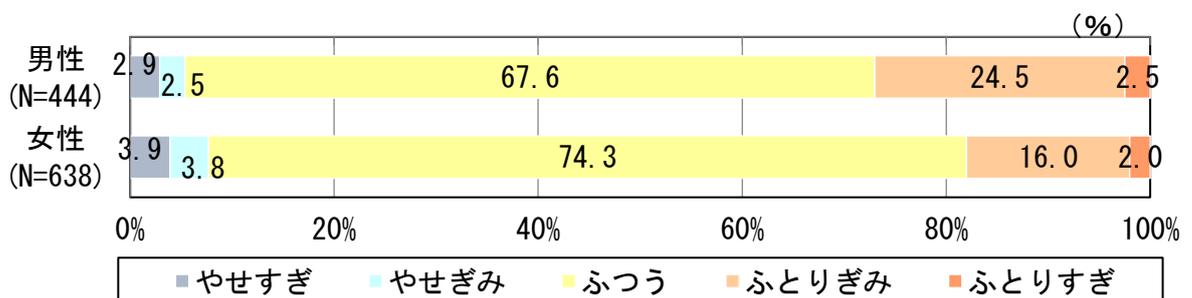
資料：学校保健委員会

2) 大人の肥満・瘦身の状況

町国保特定健診受診者のBMIによる肥満の割合（「ふとりぎみ」と「ふとりすぎ」の合計）は女性より男性の方が高い状況です。年齢をみると、男性は45～49歳、女性は50～54歳の肥満の割合が高くなっています。

瘦身の割合（「やせすぎ」と「やせぎみ」の合計）は女性の方が高い状況です。男性では50～54歳、女性では60～64歳の割合が高くなっています。

<大人の肥満・瘦身の状況（40～74歳）>



※BMI=体重(kg)÷身長(m)×身長(m)

痩身 [やせすぎ：17.6以下、やせぎみ：17.7～18.4]

標準 [ふつう：18.5～24.9]

肥満 [ふとりぎみ：25.0～29.9、ふとりすぎ：30以上]

資料：平成24年度町国保特定健診結果

計画の指標

■基本目標1 生活習慣病の予防及び重症化予防

栄養・食生活	指標	現状(H24)		目標(H34)
	■適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの者の割合の減少) ※適正体重(BMI:18.5~24.9)	40~74歳男性	67.6%	70.0%
		40~74歳女性	74.3%	76.0%
	指標	現状(H24)		目標(H34)
	■主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい夕食を摂取する者の割合の増加	20歳以上	—	80.0%
	指標	現状(H24)		目標(H34)
■朝食を欠食する者の割合の減少	40~74歳の週3回以上朝食を欠食する者	8.4%	5.0%	

■基本目標2 豊かな社会生活を営むためのこころと身体の健康づくり

【施策の方向1】より良い生活習慣を築く親と子の健康づくり

栄養・食生活	指標	現状(H24)		目標(H34)
	■出生数中の低出生体重児(体重2,500g未満)の割合の減少		7.0% (8人)	6.0%
	指標	現状(H24)		目標(H34)
	■肥満傾向児の減少 (適正体重を維持している者の増加)	5歳児	6.7%	減少傾向
		小学生	3.6%	減少傾向
		中学生	0.6%	減少傾向
	指標	現状(H24)		目標(H34)
■朝食をほぼ毎日食べる者の割合の増加	5歳児	100.0%	100.0%	
	小学生	99.5%	100.0%	
	中学生	97.9%	100.0%	

